

第45回日本血液事業学会総会プログラム

SP1

特別企画 1

1日目：11月9日（火）14:40～16:10 第1会場

改善活動本部長賞候補演題

座長：瀧原 義宏（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）
前野 節夫（日本赤十字社血液事業本部）

SP1-1 北海道ブロック血液センターにおける
日常業務の自動化技術 RPA の導入
近藤 知（北海道赤十字血液センター）

SP1-2 北海道さい帯血バンクにおける臍帯血提供者の増加を目指した
広報活動
内藤 友紀（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

SP1-3 10代献血へ向けた効果的な取り組み
—コロナ禍でも持続可能な献血セミナーとラブラッド登録推進—
保科 美有（山形県赤十字血液センター）

SP1-4 看護師応援プロジェクト
「働き方改革の実現に向けた採血セミナーによる看護師募集」
加藤 誌穂（愛知県赤十字血液センター）

SP1-5 「生産管理システム」導入による製剤作業室での作業の見える化について
窪田 英孝（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

SP1-6 業務内容改善プロジェクトにおける供給業務検討チームの
作業環境改善活動について
沼本 高志（岡山県赤十字血液センター）

SP1-7 効率的な分割血小板の確保と減損率低下に向けた「ドナーカルテ」の活用
川村富有子（高知県赤十字血液センター）

SP1-8 みんなでつくる防災ガイドブック
～マニュアルの簡略化とICTを活用した情報共有の円滑化～
長瀬さくら（福岡県赤十字血液センター）

SP2**特別企画 2****2日目：11月9日（火）16:20～17:40 第1会場****ブロック血液センター所長推薦優秀演題**

座長：入田 和男（日本赤十字社九州ブロック血液センター）
小林 正夫（日本赤十字社中四国ブロック血液センター）

【九州ブロック】

SP2-1 未然に防ぐ『災害リスクマネジメント』への取組み
溝口 昌一（日本赤十字社九州ブロック血液センター）

【中四国ブロック】

SP2-2 中四国ブロックにおける医薬情報担当者育成プログラムの成果
船津 理恵（日本赤十字社中四国ブロック血液センター）

【近畿ブロック】

SP2-3 朝メールと退社時刻宣言フラグ活用の取組みについて
浅川 侑香（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

【東海北陸ブロック】

SP2-4 新しい「血液製剤発注システム」の使用経験について
櫻井 雄太（三重県赤十字血液センター）

【関東甲信越ブロック】

SP2-5 年間複数回「400mL 献血者」を増やす取り組み
～看護師と連携した推進の効果～
ペティート タク（千葉県赤十字血液センター）

【東北ブロック】

SP2-6 コロナ禍での医薬情報活動
—オンラインによる効果的な取り組み—
國井 華子（秋田県赤十字血液センター）

【北海道ブロック】

SP2-7 さい帯血提供者とさい帯血移植患者の心をつなぐ仕組み作り
—さい帯血バンクが仲介する手紙による心の共有—
清水 香織（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

SP4**特別企画 4****2日目：11月10日（水）15:00～17:20 第1会場****血液事業本部・4部会からの報告****「ニューノーマルにおける血液事業をどう考え、どう進める」**

座長：高橋 孝喜（日本赤十字社血液事業本部）

SP4-1 献血者対応部会からの報告

豊田 九朗（日本赤十字社血液事業本部）

SP4-2 医療機関対応部会からの報告

～コロナ禍における輸血医療の環境変化を踏まえ～

北井 曜子（日本赤十字社血液事業本部）

SP4-3 技術安全対応部会からの報告佐竹 正博（日本赤十字社血液事業本部／日本赤十字社血液事業本部
中央血液研究所）**SP4-4 マネジメント部会からの報告**

中西 英夫（日本赤十字社血液事業本部）

SL1**特別講演 1****1日目：11月9日（火）11:00～12:00 第1会場****血液事業に対する日本輸血・細胞治療学会からの提案**

演者：松下 正（名古屋大学医学部附属病院輸血部／日本輸血・細胞治療学会）

座長：竹尾 高明（日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター）

SL2**特別講演 2****1日目：11月9日（火）13:30～14:30 第1会場****自己免疫疾患と補体**

演者：若宮 伸隆（酪農学園大学農食環境学群食と健康学類）

座長：瀧原 義宏（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

SL3**特別講演 3****2日目：11月10日（水）11:00～12:00 第1会場****輸血医療の現況と今後の展望**

演者：田中 朝志（東京医科大学八王子医療センター輸血部）

座長：柴崎 至（日本赤十字社東北ブロック血液センター）

SL4**特別講演 4****3日目：11月11日（木）11:00～12:00 第1会場****テクノロジーと人との調和 人工知能最前線と応用事例**

演者：川村 秀憲（北海道大学大学院情報科学研究院）

座長：中西 英夫（日本赤十字社血液事業本部）

SY1**シンポジウム 1****1日目：11月9日（火）9:00～10:50 第1会場****医療需要を見据えた今後の血液事業～コロナ禍で見えてきたもの～**

座長：北井 晓子（日本赤十字社血液事業本部）

中島 一格（日本赤十字社血液事業本部）

①需要予測を踏まえた献血者シミュレーションについて

鹿野 千治（日本赤十字社血液事業本部）

②医療機関意識調査の結果について コロナ禍を踏まえて

日野 郁生（日本赤十字社血液事業本部）

③ポストコロナを見据えた血液事業の方向性～行政の立場から～

中谷祐貴子（厚生労働省）

④輸血医療の現場からみた血液事業への期待

牧野 茂義（虎の門病院輸血部）

SY2**シンポジウム 2****1日目：11月9日（火）9:00～10:50 第2会場****HEV NAT スクリーニングの現状と効果**

座長：飯田 俊二（日本赤十字社血液事業本部）

石丸 健（日本赤十字社血液事業本部）

共催：グリフォルス株式会社

①E型肝炎

松林 圭二（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）

②北海道献血者を対象とした試行的 HEV NAT

坂田 秀勝（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

③HEV NAT スクリーニングの全数検査

谷重 直子（日本赤十字社血液事業本部）

④輸血後 HEV 感染症（遡及調査を含む）

後藤 直子（日本赤十字社血液事業本部）

SY3**シンポジウム 3****2日目：11月9日（火）9:00～10:50 第3会場****Donor Health Care — Better Donor Service をめざして—**

座長：山本 哲（北海道赤十字血液センター）

石丸 文彦（東京都赤十字血液センター）

①採血副作用の動向とその姿

山本 哲（北海道赤十字血液センター）

②レーザー血流計におけるドナー管理

算用子裕美（北海道赤十字血液センター）

③遅発性血管迷走神経反応（VVR）の危険因子と予防策

難波 寛子（東京都赤十字血液センター）

④血管迷走神経反応発生への環境要因の影響

—有楽町献血ルームのリニューアルを例に—

橋爪 龍磨（東京都赤十字血液センター）

⑤穿刺技術習得における教育教材及びカリキュラムの評価について

～採血副作用対策に向けた技術的教育～

濱田小百合（広島県赤十字血液センター）

SY4**シンポジウム 4****2日目：11月10日（木）9:00～10:50 第1会場****血液事業の広域事業運営体制 10年を振り返って—今後へ活かす知恵—**

座長：中西 英夫（日本赤十字社血液事業本部）

佐竹 正博（日本赤十字社血液事業本部／日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）

①広域事業運営体制発足の理念・意義

千葉 広一（日本赤十字社血液事業本部）

②ブロック血液センターにおける10年間の歩み、現状と課題

中島 信雄（日本赤十字社九州ブロック血液センター）

③検査部門・製造部門における10年間のあゆみ、現状と課題

石丸 健（日本赤十字社血液事業本部）

④広域事業運営体制における地域センターの現状と課題

簗持 俊洋（東京都赤十字血液センター）

SY5**シンポジウム 5****2日目：11月10日（木）9:00～10:50 第2会場****【北海道輸血シンポジウム合同企画】新しい血液製剤のニーズと開発**

座長：宮田 茂樹（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）

木村 貴文（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

①新規血液製剤の海外における開発動向と本邦での検討
宮田 茂樹（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）②冷蔵保存血小板に関する本邦における検討
小池 敏靖（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）③本邦における全血由来血小板製剤の調製に関する検討
藤原 満博（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）④乾燥血漿の開発状況
平 力造（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）⑤まれ血製剤の供給と国際協力
谷 慶彦（大阪府赤十字血液センター）**SY6****シンポジウム 6****3日目：11月11日（木）9:00～10:50 第1会場****血液事業におけるデジタル化への変革**

座長：前野 節夫（日本赤十字社血液事業本部）

秋野 光明（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

①デジタルトランスフォーメーションを正しく進めるために必要なキーワード～"なぜ"デジタルなのか～
村田聰一郎（SAP ジャパン株式会社）②次期血液情報システムの開発について
重田 達身（日本赤十字社血液事業本部）③ICTを活用した検診体制と認定インタビュアー
生田 克哉（北海道赤十字血液センター／日本赤十字社血液事業本部）④RPAの導入・活用のススメ—北海道 BBC が取り組んだ RPA 寺小屋塾—
永井 猛（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

SY7**シンポジウム7****3日目：11月11日（木）9:00～10:50 第2会場****献血者確保策を探る**

座長：豊田 九朗（日本赤十字社血液事業本部）

松田 由浩（日本赤十字社血液事業本部）

①将来人口推計とレセプトデータから見る献血者確保の試み
田中 純子（広島大学大学院医系科学研究科疫学・疾病制御学）②コロナ禍の献血、約1年半を振り返って
井上 慎吾（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター／
東京都赤十字血液センター）③北海道の予約献血推進による献血者確保
小島 聰（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）④献血思想の普及 若年者への献血教育による献血者確保
櫻木 健治（福岡県赤十字血液センター）⑤血液センター内の部署間連携による献血者確保
金子 健一（千葉県赤十字血液センター）**SYmini****ミニシンポジウム****1日目：11月9日（火）13:30～14:50 第3会場****血液型に関する最新情報**

座長：谷 慶彦（大阪府赤十字血液センター）

宮崎 孔（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）

共催：ベックマン・コールター株式会社

① KANNO 血液型について
伊藤 正一（日本赤十字社東北ブロック血液センター）②新たなMNS 血液型抗原 SUMI
小笠原健一（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）③ Kg 血液型について
田中 光信（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）④赤血球前駆細胞株を用いた不規則抗体検査用血球試薬の開発
栗田 良（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）

WS1**ワークショップ1**

1日目：11月9日（火）14：30～16：20 第2会場

輸血及び血液製剤の情報に関するハブとしての医薬情報担当者

座長：牧野 茂義（虎の門病院輸血部）

生田 克哉（北海道赤十字血液センター）

①医療機関から見た日赤のMR活動に期待すること

松本 雅則（奈良県立医科大学輸血部）

②実働MRの視点から

飴谷利江子（東京都赤十字血液センター）

③地域特性を捉えたMR活動

田平 一葉（山梨県赤十字血液センター）

④コロナ禍におけるMR活動

森下 勝哉（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

⑤これからの医薬情報活動について

日野 郁生（日本赤十字社血液事業本部）

WS2**ワークショップ2**

1日目：11月9日（火）16：30～18：00 第2会場

事務部門の変革に向けて

座長：津野 寛和（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

会川 勝彦（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

①在宅勤務の現状と課題

皆川 信也（日本赤十字社血液事業本部）

②RPA活用による働き方改革の取り組み

長江 範之（旭川赤十字病院事務部）

③職員のマルチタスク化

藤田 秀行（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

④事業部門の事業戦略の作り方
〔医師かつMBA（経営管理修士号）としての血液事業経営企画の考え方〕

津野 寛和（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

WS3**ワークショップ3****1日目：11月9日（火）15:00～16:30 第3会場****品質保証 一つ上のGMPを目指して**

座長：圓藤ルリ子（日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター）

宮作 麻子（日本赤十字社血液事業本部）

①品質保証

遠藤 嘉浩（日本赤十字社血液事業本部）

②日本血液製剤機構における医薬品品質システム（PQS）の運用について

大場 徹也（一般社団法人日本血液製剤機構）

③査察から見えてきた当製造所の課題と取り組み

谷川美佳子（日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター）

④当製造所における教育訓練とスキルマップの運用

樋口 敏生（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

WS4**ワークショップ4****1日目：11月9日（火）16:40～18:10 第3会場****今後の供給体制について**

座長：面川 進（秋田県赤十字血液センター）

保坂 勇一（日本赤十字社血液事業本部）

①交通事故防止の取り組み

下垣 昭二（日本赤十字社血液事業本部）

②定時・臨時配達の現状と課題

佐々木 大（日本赤十字社東北ブロック血液センター）

③WEB発注システムの普及と課題

佐藤 範之（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

④供給に関する最新の話題

杉山 朋邦（日本赤十字社血液事業本部）

WS5**ワークショップ 5****2日目：11月10日（水）15:30～17:00 第2会場****クリニカルパス～対応の標準化と効率化～**

座長：川口 泉（日本赤十字社血液事業本部）

荒木あゆみ（北海道赤十字血液センター）

①クリニカルパス～対応の標準化と効率化～

北折健次郎（宮崎県赤十字血液センター）

②宮崎センターにおけるクリニカルパスの現状と課題

長峰 三和（宮崎県赤十字血液センター）

③クリニカルパスと献血看護

高橋 幸博（奈良県赤十字血液センター）

④ICTを用いた検診体制下でのクリニカルパス

松本美由紀（北海道赤十字血液センター）

WS6**ワークショップ 6****2日目：11月10日（水）9:00～10:30 第3会場****改善活動をさらに推進するために：改善活動血液事業本部長賞受賞後の進展と課題**

座長：中川 國利（日本赤十字社東北ブロック血液センター）

瀧原 義宏（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

①血小板製剤の梱包方法の改善

—中四国ブロック内の統一方法構築も見据えて—（2020年度受賞）

熊野 可苗（日本赤十字社中四国ブロック血液センター／広島県赤十字血液センター）

②「教育訓練管理システム」受賞後の進展と課題

小川 正則（神奈川県赤十字血液センター）

③パンフレットを活用した献血者の健康管理について

～病院受診のための紹介状から見えるもの～

久保 聖子（岩手県赤十字血液センター）

④NATを含む感染症関連検査業務の効率化と平準化

～2016年の改善から5年、検査機器の変更を経て～

圓藤ルリ子（日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター）

⑤「改善活動」を企業文化にするために

中間 弘和（公益財団法人日本生産性本部）

WS7**ワークショップ7****2日目：11月10日（水）15:30～17:00 第3会場****臍帯血移植2万症例突破 さらなる事業展開へ**

- 座長：高梨美乃子（日本赤十字社血液事業本部）
室井 一男（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）
①臍帯血の保存数増加に向けた取り組み—北海道さい帯血バンク—
関本 達也（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）
②臍帯血の保存数増加に向けた取り組み—関東甲信越さい帯血バンク—
峯元 瞳子（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）
③臍帯血公開数増加の取り組み—近畿さい帯血バンクの取り組み
木村 貴文（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）
④臍帯血の保存数増加に向けた取り組み—九州さい帯血バンク—
山口恵津子（日本赤十字社九州ブロック血液センター）
⑤臍帯血バンクへの支援と今後の課題
東 史啓（日本赤十字社血液事業本部）

WS8**ワークショップ8****3日目：11月11日（木）9:00～10:30 第3会場****製造部門の生産統制に向けた取り組み**

- 座長：安村 敏（日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター）
川島 航（日本赤十字社血液事業本部）
①全血採血由来製剤の生産ライン最適化に向けた取り組み
新田 誠（日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター）
②成分採血由来製剤の生産ライン最適化に向けた取り組み
佐藤えりか（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）
③生産工程における進捗の見える化への取組み
下垣 一成（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）
④生産年齢人口の減少に向けた北海道 BBC の取り組み
—協働ロボットと冷蔵冷凍対応 AGV の導入—
梅田 浩介（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

EL1 ~ 4

教育講演 1 ~ 4

医療者のためのデータ解析入門

演者：田久 浩志（国士館大学大学院救急システム研究科）

EL5

教育講演 5

在宅輸血の現状と課題

演者：宮下 直洋（HOME CARE CLINIC N-CONCEPT）

EL6

教育講演 6

貧血—基礎から最近の話題まで—

演者：生田 克哉（北海道赤十字血液センター／日本赤十字社血液事業本部）

EL7

教育講演 7

免疫グロブリン製剤の効能・適応疾患

演者：佐藤 一也（JA 北海道厚生連旭川厚生病院血液腫瘍内科）

EL8

教育講演 8

血小板減少の臨床的意義

演者：羽藤 高明（愛媛県赤十字血液センター）

EL9

教育講演 9

赤血球輸血の臨床：血液センター職員のためのガイドライン解説

演者：米村 雄士（熊本県赤十字血液センター）

EL10

教育講演 10

新鮮凍結血漿の使用ガイドラインについて

演者：長谷川雄一（茨城県立中央病院／筑波大学医学医療系茨城県地域臨床教育センター）

EL11

教育講演 11

一緒に RPA 口ボを作ろう—あなたの業務、自動化しませんか—

演者：梶尾 大輔（UiPath 株式会社）

EL12

教育講演 12

5 分で改善！？日本赤十字社全社統合情報システムで出来る「カンタン」「ベンリ」な業務改善

演者：鈴木 秀夫（日本赤十字社）

EL13

教育講演 13

ヘモビジランス・トレーサビリティについて

演者：浜口 功（国立感染症研究所血液・安全性研究部）

EL14**教育講演 14****トリマ アクセル 基本原理から効率運用のご紹介**

演者：五十嵐歩実（テルモ BCT 株式会社）

共催：テルモ BCT 株式会社

EL15**教育講演 15****TACSI の動作原理および実運用における留意点**

演者：丸田 千明（テルモ BCT 株式会社）

共催：テルモ BCT 株式会社

EL16**教育講演 16****血液事業における感染対策～安心して献血できる環境づくりのために～**

演者：坂本 真己（ゴージョージャパン株式会社）

共催：テルモ BCT 株式会社

EL17**教育講演 17****放射線源の代替技術として求められる X 線照射装置と海外の状況**

演者：藤田 勇一（富士フィルムヘルスケア株式会社）

EL18**教育講演 18****成分採血装置コンポーネントコレクションシステム（CCS）について**

共催：ヘモネティクスジャパン合同会社

EL19**教育講演 19****新製品 ヘモグロビン分析装置「コンポラブ TM」の導入に際して**

演者：岩城 剛（フレゼニウス カービ ジャパン株式会社）

座長：首藤加奈子（神奈川県赤十字血液センター）

共催：フレゼニウス カービ ジャパン株式会社／株式会社ジェイ・エム・エス

EL20**教育講演 20****検査機器の校正と精度管理—身近な例で考えてみましょう—**

演者：赤井 保正（シスマックス株式会社）

共催：シスマックス株式会社

EL21**教育講演 21****血液製剤におけるヒトパルボウイルス B19 感染症対策**

演者：坂田 秀勝（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

共催：グリフォルス株式会社

EL22**教育講演 22****献血者の感染症スクリーニング抗原・抗体検査**

演者：小島 牧子（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）

共催：アボットジャパン合同会社

EL23**教育講演 23****血液暴露事故時の関連検査と検査法の特徴**

演者：土田 貴彦（アボットジャパン合同会社）

共催：アボットジャパン合同会社

EL24**教育講演 24****白血球除去について学ぼう！**

演者：小林 健次（旭化成メディカル株式会社）

共催：旭化成メディカル株式会社

EL25**教育講演 25****輸血細菌感染症対策の現状と未来**

演者：後藤 直子（日本赤十字社血液事業本部）

EL26**教育講演 26****AI-OCR を活用した業務のデジタル化、ペーパーレス化のポイント**

演者：杉原 弘恭（オートメーション・エニウェア・ジャパン）

EL27**教育講演 27****安心、安全な製品を製造するために大切なこと**

演者：河合 雅治（SB カワスミ株式会社）

共催セミナー

1日目：11月9日（火）12：20～13：20

共催セミナー1（第1会場）

共催：シスメックス株式会社

COVID-19と対峙して

演者：豊嶋 崇徳（北海道大学大学院医学研究院内科学分野血液内科学教室）

座長：生田 克哉（北海道赤十字血液センター）

共催セミナー2（第2会場）

共催：富士フィルム和光純薬株式会社／旭化成ファーマ株式会社

糖尿病合併症とグリコアルブミン（GA）について：久山町研究

演者：二宮 利治（九州大学大学院医学研究院衛生・公衆衛生学分野）

座長：入田 和男（日本赤十字社九州ブロック血液センター）

共催セミナー3（第3会場）

共催：SB カワスミ株式会社

糖鎖って何？—私たちの健康をつなぐ生命の鎖

演者：島岡 秀行（住友ベークライト株式会社）

座長：谷 慶彦（大阪府赤十字血液センター）

共催セミナー

2日目：11月10日（水）12:20～13:20

共催セミナー4（第1会場）

共催：テルモBCT株式会社

データマネジメントシステム TOMEs—その機能と海外活用事例—

演者：宇野カオル（Terumo Blood and Cell Technologies）

座長：生田 克哉（北海道赤十字血液センター）

共催セミナー5（第2会場）

共催：アボットジャパン合同会社

疫学調査からみたSARS-CoV-2感染症と関連検査

演者：田中 純子（広島大学大学院医系学研究科疫学・疾病制御学）

座長：津野 寛和（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

共催セミナー6（第3会場）

共催：オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社

再生医療・細胞治療における臨床検査技師の関わり

演者：小嶋 俊介（信州大学医学部附属病院輸血部／先端細胞治療センター）

座長：宮城 徹（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）